

# 学校再編計画(案)について

～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～

## 【これからの学校教育とは】

これからの学校教育は、子ども達の「生きる力」を育成することが求められている。このような教育を実現するため教育委員会及び各学校では、教育内容・教育活動及び環境等の整備充実に取り組んでいる。



## 【現状での課題】

現在我が国で進行している「少子化」は、教育目標を達成するうえで大きな影響を及ぼしており、「少子化に対応した活力ある学校づくり」が最も重要な課題の一つとなっている。



## 【課題に対応するため】

このような課題に対応するため、「今後の学校の適正規模、適正配置をどのようにしていけばよいのか」について検討し、子ども達にとってより良い教育環境を提供していく。そのため杉戸町教育委員会では、文部科学省が一定の基準を示す「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を参考として「杉戸町立小中学校通学区等審議会」の意見を伺いながら「杉戸町立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を作成した。



## 杉戸町立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針 (適正規模の基準)

【小学校の望ましい規模】 12学級から18学級

【中学校の望ましい規模】 9学級から18学級

## (適正配置の基準)

【小学校の通学距離】 おおむね4km以内

【中学校の通学距離】 おおむね6km以内

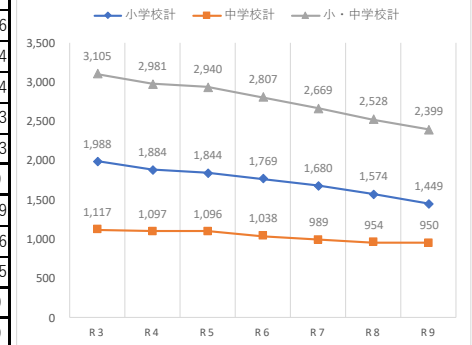
【通学時間】 おおむね1時間以内

## 杉戸町立小・中学校「児童生徒数の今後の推移」【予測】

令和3年5月1日現在 単位：人

学校名	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
杉戸小学校	654	618	616	592	560	504	459
杉戸第三小学校	220	213	220	214	204	184	176
西小学校	293	288	277	288	269	271	254
杉戸第二小学校	432	412	407	378	359	338	304
泉小学校	131	119	102	87	82	75	63
高野台小学校	258	234	222	210	206	202	193
<b>小学校計</b>	<b>1,988</b>	<b>1,884</b>	<b>1,844</b>	<b>1,769</b>	<b>1,680</b>	<b>1,574</b>	<b>1,449</b>
杉戸中学校	690	694	693	636	604	566	569
東中学校	111	90	82	75	70	61	56
広島中学校	316	313	321	327	315	327	325
<b>中学校計</b>	<b>1,117</b>	<b>1,097</b>	<b>1,096</b>	<b>1,038</b>	<b>989</b>	<b>954</b>	<b>950</b>
<b>小・中学校計</b>	<b>3,105</b>	<b>2,981</b>	<b>2,940</b>	<b>2,807</b>	<b>2,669</b>	<b>2,528</b>	<b>2,399</b>

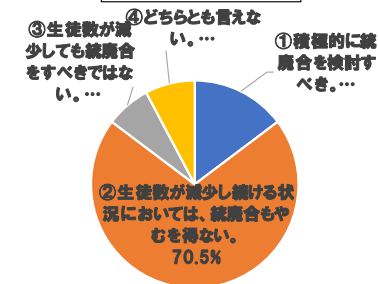
## 児童生徒数の今後の推移【予測】



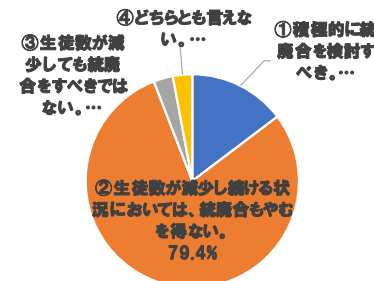
## WEB アンケート 調査結果抜粋

Q 少子化の影響で生徒数が減少しており、今後もその傾向が続くと予測されています。学校の統廃合も選択肢のひとつとして考えられますが、あなたの考えに一番近いものを1つだけ選んでお答えください。

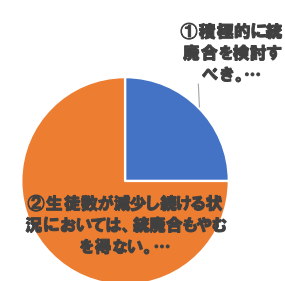
### 中学2年生の保護者



### 教職員



### 学校評議員



## 学校再編を進めるうえでの基本的な考え方

- ① 児童・生徒にとってより良い教育環境の提供
- ② 持続的・安定的な教育の推進
- ③ 地域と学校との関わりに配慮

## 基本方針の適正規模の基準から外れる中学校

### 各中学校の学級数（令和3年5月1日現在）

令和3年度（全学年40人学級）		令和9年度（全学年40人学級）	
杉戸中学校	18学級	杉戸中学校	15学級
東中学校	4学級	東中学校	3学級
広島中学校	9学級	広島中学校	9学級

### 東中学校 → 広島中学校へ編入統合

- ・生徒数の多い広島中学校への編入統合とする。
- ・泉小学校との小中一貫校化については、部活の選択肢が少ないといった問題が解決しないことや9年間同じ児童・生徒と過ごすことになり、高校進学時に大きなギャップが生じる懸念があることから採用せず、中学校同士の統合とする。

中学校通学区域図(案)



中学校再編案

